

# 光葉ワーキングクラブメールマガジン

<2015年11月号>

104号 2015.11.02配信

今年のカレンダーがあと2枚になりました。「早い！」ですか「まだまだ」ですか？どちらにしても、時は同じスピードです。大切に過ごしたいですね。11月14日、15日は秋桜祭です。是非母校に足を運んで学園を散策して下さい。皆様のお越しを心からお待ちしております。

## ■同窓会だより

### 第23回 秋桜祭 光葉同窓会参加内容

日 時：11月14日（土）、15日（日） 10：00～15：30

会 場：大学3号館 1階 教室、玄関ホール、学生ラウンジ

#### [パネル展示]

- ◆「創立者 人見圓吉先生からのメッセージ」 詩集『学園の歌』を通して  
(『学園の歌』は詩人 人見東明の49年ぶりの詩集)
- ◆「アメリカ東海岸ボストン・ニューヨーク研修旅行8日間」報告(写真展示)
- ◆ワーキングネットワーク報告

◇小学校教職員ネットワーク 2015年3月23日（土）

講演「これから小学校教員になるみなさまへ」

山中ともえ（東京都調布市立調和小学校 校長）

◇ワーキング秋祭り 2015年9月26日（土）

- ・小学校教職員ネットワーク
- ・中学・高等学校教職員ネットワーク
- ・ビジネスネットワ
- ・『食』関連ネットワーク

[バザー] 学生の奨学金になります

- ◆全国51支部(地方の名産品)、卒業生11グループ、同窓会本部(同窓会グッズ、手作り品)

[子どもゲームコーナー]

### 2015年 日本建築学会大賞受賞記念

#### 「平井 聖 先生のスケッチブック」

光葉同窓会のシンボルマークや、一筆箋、クリアファイルでお馴染みの、平井聖前学長の「平井聖先生のスケッチブック」を秋桜祭開催日にオープンカレッジ4階403教室で開催いたします。一筆箋は、新たに20種類が加わりました。会場やバザー会場で販売します。

日時：2015年11月14日（土） 10：00～16：30、15日（日） 10：00～16：00

会場：昭和女子大学オープンカレッジ4階403教室

主催：昭和女子大学光葉同窓会



「特別の教科 道徳」は道徳的価値に照らして自己を見つめ、様々な状況下で主体的に対応できる力となる道徳的判断力、道徳的心情、道徳的意欲と態度を養うこととされている。一言でいえば、豊かな人間形成、人格形成に「生きて働く道徳性」の育成が求められている。

さらに、「特別の教科 道徳」は各教科と横並びではなく、「特別の教科」として位置づけられている。何が特別なのか。それは道徳の特質による。つまり、学校における教育活動全体で行なわれる道徳教育の要としての役割を担うという事である。このことは、各教科等と密接なかかわりを持ちながら、道徳独自の要としての指導を充実せねばならないということである。「特別の教科 道徳」は各教科を含み込むスーパー教科として位置づくのである。そのような道徳教育を世界に発信していかうではありませんか。

#### [感想]

黒澤 幸子 2012年度 院 生活機構研究科 人間教育学専攻 修了

平成30年4月、道徳の時間は、「特別の教科 道徳」として小学校段階から全面実施されることになった。

押谷教授は、「特別の教科 道徳」設置の趣旨は、①いじめ等問題行動の多発・深刻化への対応 ②急激に変化する社会において主体的に生きる力の育成 ③改正教育基本法における道徳教育の重視 道徳教育の充実であり、そのための中核として「道徳の時間」を「道徳の特性を踏まえた新たな枠組みによる教科化」にすることで、条件面の充実、教師の意識改革、授業改善、学校教育改善等を図る重要性を述べられた。

教育の目的が「人格の完成」であり、その中核となるのが「特別の教科 道徳」であることを、これから教職に就こうとしている人にもわかりやすく説明して下さり、温かな語りのなかにも道徳教育に対する情熱が伝わってきた。まさに『道徳の時代がきた』ことを実感した一時間であった。

#### ◇『食』関連ネットワーク

##### 「病院の患者さんへの食事提供の工夫」

病院栄養士として勤務されているお二人の卒業生から、職場での取り組みについて講演が行われた。病院では、症状に応じて適切で安全な食事が提供されることで、病気の治療と回復を早め、さらに快適な入院生活が送れるよう食事提供がされている。要旨は、以下の通りである。

##### ① 講師：長嶋泰子さん（東邦大学医療センター大森病院 管理栄養士 2005年生活科学科卒）

東邦大学医療センター大森病院の病床数は972床。食数は1日2000食ほどである。栄養部の職員は、管理栄養士、栄養士、調理師、アルバイトで構成され、栄養管理と給食管理に携わっている。現在、管理栄養士の業務は、病棟での栄養管理と医師、看護師、薬剤師などと協働した栄養サポートチーム（NST）の活動である。

入院患者さんの食事は医療の一環なので、糖尿病食、腎臓病食など、さらに常食、全粥など形態別に、また必要に応じてアレルギー対応、選択メニュー、好き嫌いなどについても対応している。さらに季節感のある行事食やお祝い膳に趣向を凝らし、患者さんの食べる意欲が湧く視覚、味覚の工夫をしている。

チーム医療として、嚥下障害訓練食などで用いられるミキサー食は、患者さんの食思不振傾向がみられるが、料理の上に食材の絵を描くなど現場では丁寧な作業が行われている。また、病院が朝ドラ「梅ちゃん先生」のモデル校であったことから、がん患者の化学療法における食思不振時に対応した「梅ちゃん食」も提供している。今後も自己研鑽を続け、貢献していきたい。

## ②講師：菊地裕美さん（富士整形外科病院 栄養士 1999年食物科学科卒業）

富士整形外科病院では、朝食 75 食、昼食 150 食、夕食 75 食の給食を提供する業務に従事している。献立作成で気をつけていることは、季節感を出し、彩り、食材の重複を避けつつ「季節献立」や「行事食献立」など行事の意義や雰囲気を出す工夫もしている。

医師からの指示に基づいた治療食については、患者個人の嗜好に合った食事にするため代替食材などを使用し、栄養価や見た目を変えずに出来るだけ柔軟に対応している。また、出来上がった食事の盛り付けにも留意し、見るだけで食欲が出るよう配慮している。

給食は「見た目」と「味」がよく、更に「安全」が必要であるため衛生管理マニュアルに基づいた食材の管理、調理作業が行なわれている。患者の皆さんからの「美味しかったよ」という一言は、嬉しく励みになり、また、一食の食事提供には様々な苦勞を伴うが、大事な仕事でやりがいも感じている。

今回、学生の参加も多かったことから、学生に向けて「仕事が好きであることが一番。どんな職場でも人間関係や仕事の進め方など困難も多いが、仕事を好きになり、実績をつくり、チャンスをつかんでほしい」とアドバイスがあった。（参加者 44 名）

## ■『お菓子教室』の報告

10月28日（水）『ガトーオランジュ』をつくりました。講師は1964年生活科学科卒の田中多喜子さん。デモンストレーション後、一人ひとりバターをクリーム状にする作業に大奮闘、学生時代に戻った気分で見事に、楽しく実習にのぞみました。その後、先生が作った「豆腐のムース」とケーキの試食、お土産に「ガトーオランジュ」1本と大層満足した1日でした。

（参加人数 22 名）

## ■学園だより

### ◆11月4日（水）第2代理事長 人見楠郎先生のご命日。

献花用のお花が用意されておりますので、秋桜祭においでの際は祭壇にお参り下さい。

設置場所：学園本部館 1階ロビー

設置期間：11月4日（水）10：00～15日（日）16：00

### ◆11月9日（月）墓前祭11：00～ 於：松陰神社（雨天の場合は学園本部館3階 大会議室）

### ◆11月14日（土）・15日（日）秋桜祭

### ◆11月15日（日）ホームカミング・デー 12：00～14：30 於：学園本部館3階 大会議室

1966・1976・1986・1996・2006年の3月・9月の卒業生が招待されています。

（問い合わせ：ホームカミング・デー係 [swuhcd@swu.ac.jp](mailto:swuhcd@swu.ac.jp) 03-3411-5116）

## 大学からのお知らせ

### 「昭和之泉」と「光葉庵」で宮城県女川町復興支援紙ランタンイベント開催案内

11月19日（木） 点灯開始17：30～ 終了19：30

雨天の場合11月26日(木)、27日(金)に順延

場所：昭和女子大学 昭和之泉および光葉庵

\*「紙ランタン」の制作協力募集中 詳細は大学HP 公開講座・イベント参照

### 【文化講座】

11月24日（火）18：15開演 ロシオ・モリーナ舞踏団

\*空席有り、電話にて申込みを受け付けます。

〔問合せ〕 人見記念講堂事務室 電話 03-3411-5120

### 【特別公開講座】

11月28日（土）10：40～12：10 世界の広場への旅—広場の魅力とその造形—

講師：昭和女子大学現代ビジネス研究所 芦川 智 特任教授

受講料：無料 会場：昭和女子大学内教室（当日守衛室でご案内します）

申込み先：昭和女子大学オープンカレッジ

申込み方法：E-mail、電話、Fax

① 受講希望日 ②氏名 ③連絡先 をお知らせ下さい。

E-mail:opencl@swu.ac.jp 電話：03-3411-5100 Fax：03-3411-5130

### 【平成27年度 ロッド・エリス教授 公開授業】 一般公開されます。

講師：ニュージーランドのオークランド国立大学教授、昭和女子大学客員教授

エリス・ロデリック教授

エリス教授は第二言語学習得研究の第一人者で、日本でも多くの本が研究者に詠まれています。

〔Part 1〕は申込み完了。

〔Part 2〕11月21日（土）3講時～6講時（13：10～19：40）

11月22日（日）1講時～3講時（09：00～14：40…昼休み無で13：40になる可能性高い）

\*対象者：英語教育に関心を持ち、英語による講義を理解する能力のある方。

\*参加費：8,000円（教材費含む）

\*詳細は大学HP 公開講座・イベント参照

### ◆早川書房と昭和女子大学現代ビジネス研究所とのプロジェクト活動が新レーベル<my perfume>を立ち上げ、レーベル1作目の『ケチャップ・シンドローム』を刊行（10月22日）。

学生46名が参加し、レーベル名とロゴマーク、キャッチコピー、作品タイトル、表紙デザイン、あらすじ紹介文など多岐にわたり、書店に置く手描きのPOPも制作。

## ■広げよう光の葉

宮里 昭子さん

1983年文学部日本文学科卒

群馬生まれの私が、主人の転勤に伴い奈良に移り住んで23年が経ちました。専業主婦ではありましたが、子供達のPTA活動を通して慣れない地域とも直ぐに馴染むことができ、楽天的な関西人気質をめいっぱい吸収して 今ではすっかり地の人になっております。

この間 私の人生の大きな柱となる2つの素敵な出逢いがありました。

その一つは「イングリッシュハンドベル」との出逢いです。

娘が中高一貫校のミッションスクールに入ったお陰で、PTA活動の一環として初めてハンドベルを知りました。一音一音を繋げてメンバーの心も一つにしながらい奏でるハンドベルの音色に瞬時に魅せられてしまい、その魔法から15年経った今も醒めていません。

活動としては、幼稚園、教会、病院、ホスピス等でボランティア演奏させて頂いております。昨秋には人見記念講堂で全国ハンドベルフェスティバルが開催され、ステージで2曲演奏してきました。母校での演奏は感慨深くいい思い出になりました。

これからも愛と奉仕というベルの理念に基づき美しい調べを地域の皆様にお届けしていきたいと思っております。

もう一つの出逢い、それは奈良支部の皆様との出逢いです。

2000年奈良支部発足という重責を担われた北原様、山口様が県内の会員全員に電話され第一回奈良支部総会開催に向けてご尽力されました。受話器から聞こえる先輩の優しいお声掛けに初参加させて頂いてから今に至ります。

同窓会は敷居が高く後ろ向きに感じていましたが、そこに集った先輩方を拝見して これまた衝撃が走りました。「凜」として美しく自己をしっかり持っていらっしゃる方ばかり。この時期子育ての狭い世界にいた私は自分の無知、未熟さが恥ずかしかった反面、魅力的な先輩方とお近づきになりたい！是非次回も参加したい！と思ったことを覚えてます。

支部会は知恵の宝庫です。世間付き合いのいろはから和裁、洋裁、書道、料理まで知識が溢れています。

まだ支部会に参加したことのない皆様、是非一度足をお運びください。同窓会に対する意識が変わるはず。増え続ける核家族社会の中で支部会はまさに『故郷』です。騙されたと思って覗いてみてください。きっとそこにも貴女の居場所があるはず。

身寄りも知り合いも居なかった奈良の地で私はこれらの人生の財産と廻り合え、心豊かに過ごせますこと、とても幸せに思います。

これからも「日日是好日」 すべてに感謝を持って大切に生きていきたいと思っております。

いつまでも光輝く葉っぱの一枚として～

光葉同窓会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

End